

みんなの「うつわ」ができるまで ～できあがりのひみつ ぜひ知ってください～

この夏、子どもたちが土のかたまりを手でこねて、思い思いの形をつくった陶芸体験。
その後、陶創会・大野東陶芸の皆さんがひとつひとつの作品をていねいに仕上げてくださいました。形をととのえ、いくつもの工程を経て、ようやく完成したものです。

「どうやってできたの？」そんなふうに、お家で話をしていただけたらうれしいです。

01 乾かす、素焼きする（8時間）

しっかり乾かしてから、まずは“素焼き”という焼き方をします。ていねいに窯に入れ、1時間に100℃ずつ上げながら8時間じっくり焼き、作品をかたくて丈夫な土の状態にします。



02 釉薬をかける

素焼きが終わった作品に、色をつけるための“釉薬（ゆうやく）”をかけます。子どもたちが選んだ希望の色を、一つずつていねいにかけてくださいました。



03 本焼きする（約12時間）

少しずつ温度を上げながら、最高約1240℃で焼き上げます。高い温度で焼くので、釉薬の色や質感が少しずつ変わり、ひとつとして同じ仕上がりにならないのも、陶芸の楽しさです。



04 完成、仕分け

ついに作品が完成！仕上げをした後、間違いなく子どもたちに届けられるように、丁寧に仕分けします。割れないように新聞紙でくるみ、袋に入れて大切に包みました。



もしよければ、できあがった作品をお家で使っている様子の写真を送ってください！

Mail : s-kurata0317@city.hatsukaichi.lg.jp

大野東市民センター